

「着任のご挨拶」

新潟市 こども未来部長

小柳 健道



新潟市私立保育協会の皆さま、本年4月より新潟市こども未来部長に着任しました小柳健道です。3月まで児童相談所長を務めておりました。その際にも皆さまにはたいへんお世話になりました。引き続き、よろしくお願いたします。

昨年度は「幼児教育・保育の無償化」の大転換を、皆さまのご協力により無事終えることができました。日々のお忙しいなか、各園におかれましてはご苦労が多かったと思いますが、皆さまのご協力に感謝申し上げます。

その後は、息つく間もなく新型コロナウイルスが猛威をふるい、各園では感染予防対策の徹底、園児や保護者の不安軽減など、強い緊張感のなか、最前線でご尽力いただいたことに重ねて感謝申し上げます。

緊急事態宣言解除前は、10万人当たりの感染者数が政令市の中で14番目（20市中）でしたが、解除後の8月末には感染者数が一番少ない20番目で、19番目の静岡市の2分の1の感染状況となっております。

これは市民意識の高まりが大きな理由と思われませんが、園や学校などで日々丁寧な感染予防対策を実践し、各家庭に意識啓発を図ってきた成果であると認識しています。冬に向け感染の広がり懸念されますが、本市でも感染の予防や拡大防止のため各園への衛生用品の確保などの支援に努めてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

本年度は新潟市の子ども・子育て支援事業計画である「新・すこやか未来アクションプラン第2期計画」が、令和6年までの期間で始まっています。この計画では、待機児童ゼロを基本に、保護者の多様なニーズに応じられる保育サービスの提供体制を整備し、職員の専門性の向上のための研修や保育士確保対策の充実も盛り込んでいきます。

Withコロナの時代、「新しい生活様式」を踏まえ企業などでは、新しい発想での働き方や仕組みづくりが始まっています。本市でもコロナ禍に負けず、子どもたちが安心して生活し成長できる地域づくりを進めていきますので、貴会の皆さまの更なるご協力をお願い申し上げます。着任のご挨拶とさせていただきます。

「着任のご挨拶」

新潟市 こども未来部保育課長

浅間 孝之



新潟市私立保育協会の皆さまには、日頃より本市児童の健やかなる成長にご尽力をいただいていますことに深く感謝申し上げます。今年度より新潟市こども未来部保育課長に就任しました浅間孝之です。

前職は教育委員会で教職員の健康管理や給与の支払いなど福利厚生を担当していました。福祉分野の職場は初めてになりますが、前任の加藤課長を引き継ぎ、本市の保育の充実・発展に貢献できるよう精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

皆さまには、昨年度の「幼児教育・保育の無償化」の大転換への対応をはじめ、新型コロナウイルス感染症への対応など、責任と誇りをもってこの難局にご対応いただいていることに重ねて感謝いたします。

着任にあたり、保育課の今年度の新たな取り組みについてご紹介させていただきます。まずは、課題となっております保育士確保策として、「宿舍借り上げ支援事業」を開始しました。30件分の予算を確保していきますので積極的な活用をお願いいたします。次に、市立保育園配置計画に基づく市立保育園の閉園調整を本格的に始動します。閉園等の情報はその都度ご提供いたしますので、周辺施設の皆さまには、受け入れにあたってのご協力をお願いいたします。最後に、子ども・子育て支援新制度以降ますます膨大化・複雑化する保育事務の効率化を図るため、関連事務を集約する事務センターの設置に着手します。書類の送付先や手続きの流れが変更になる場合もあると思いますが、施設側の負担軽減にもつながるよう進めていきます。このような様々な取り組みを通じ、子どもたちが健やかに育つ環境、安心して子育てができる環境の土台づくりを進めてまいりますので、私立保育協会の皆さまのご理解・ご協力を重ねてお願いいたします。